



2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 神戸物産
コード番号 3038 URL <https://www.kobebussan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沼田 博和
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 匡浩 TEL 079-458-0339
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有 (<https://www.kobebussan.co.jp/ir/news.php>)
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	248,123	11.8	17,720	25.4	18,036	36.7	12,345	35.5
2023年10月期第2四半期	221,968	12.0	14,133	△4.1	13,198	△19.4	9,110	△17.5

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期12,643百万円(51.1%) 2023年10月期第2四半期 8,365百万円(△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	55.93	55.54
2023年10月期第2四半期	41.54	41.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第2四半期	222,177	123,069	54.0	543.07
2023年10月期	211,891	114,451	52.7	506.23

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 119,946百万円 2023年10月期 111,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	ー	0.00	ー	22.00	22.00
2024年10月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2024年10月期(予想)	ー	ー	ー	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	498,000	7.9	31,000	0.9	33,000	10.1	21,500	4.6	97.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期2Q	273,600,000株	2023年10月期	273,600,000株
② 期末自己株式数	2024年10月期2Q	52,730,155株	2023年10月期	52,968,055株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期2Q	220,754,543株	2023年10月期2Q	219,292,944株

(注) 期末自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式275,200株を含めております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年10月期2Q 275,200株、2023年10月期2Q 168,400株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年11月1日～2024年4月30日)における我が国の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が解除されたことにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化に加え、中東情勢の激化など新たな地政学リスクの発生、不安定な為替の変動、エネルギーコストの高騰等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

食品スーパー業界におきましては、急激なインフレによる消費者の節約志向の高まり、様々なコスト増加等、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食の製販一体体制」の更なる強化というグループ目標のもと、食品製造工場の生産能力の増強や積極的な商品開発を行い、神戸物産グループ全体の競争力を高めてまいりました。

また、高品質で魅力のある商品をベストプライスで提供できる当社グループの強みをさらに磨き、お客様のニーズをとらえた事業を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は248,123百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は17,720百万円(同25.4%増)、経常利益は18,036百万円(同36.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,345百万円(同35.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①業務スーパー事業

当第2四半期連結累計期間における業務スーパー事業において、国内グループ工場で製造するオリジナル商品と、世界の本物をコンセプトにした自社直輸入品による、魅力あふれるプライベートブランド商品をベストプライスで販売する「業務スーパー」の出店状況は、出店23店舗、退店9店舗、純増14店舗の結果、総店舗数は1,062店舗となりました。なお、2024年4月よりこれまで地方エリアであった鹿児島県を直轄エリアに変更しております。

新規出店の内訳といたしましては、直轄エリア17店舗、地方エリア6店舗であります。オーナーの出店意欲も引き続き旺盛であり、また、営業年数が長くなり老朽化してきた店舗の移転等を積極的にフランチャイズオーナーに勧めております。

経営成績については、為替の急激な変動や物価高騰等を理由とした仕入れコストの上昇による個人消費の落ち込みを背景に、消費者の節約志向が高まったことで業務スーパーの低価格商品を求めるお客様の来店につながり、さらにメディア露出やSNSの影響もあり業績が拡大しました。

この結果、業務スーパー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は239,436百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

②外食・中食事業

当第2四半期連結累計期間における外食・中食事業において、日本最大級の大型バイキングチェーンである「神戸クック・ワールドビュッフェ」の出店状況は、出店1店舗、退店0店舗、純増1店舗の結果、総店舗数は15店舗となりました。厳選したお肉と店内手作りのデザートを中心に楽しむ焼肉オーダーバイキングの「プレミアムカルビ」の出店状況は、出店1店舗、退店0店舗、純増1店舗の結果、総店舗数は21店舗となりました。また、日常の食卓の代行をコンセプトとして店内手作り・価格にこだわった惣菜店の「馳走菜(ちそうな)」の出店状況は、出店7店舗、退店0店舗、純増7店舗の結果、総店舗数は全国で121店舗となりました。「神戸クック・ワールドビュッフェ」につきましては、メニューの改廃等によるお客様満足度の向上に努めたことに加え、外国人観光客の増加等の影響で、集客は新型コロナウイルス感染症拡大前に近い水準まで回復してきております。

「プレミアムカルビ」につきましては、メディアで紹介される機会も増加し、多くのお客様にご利用いただいております。

「馳走菜(ちそうな)」につきましては、お客様のニーズをとらえたメニュー構成や新メニューの投入で集客力を増しております。加えて、店舗数の増加もあって売上高を拡大しております。

この結果、外食・中食事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は6,539百万円(同25.2%増)となりました。

③エコ再生エネルギー事業

当第2四半期連結累計期間におけるエコ再生エネルギー事業において、稼働中の発電所と発電量は、太陽光発電所が19ヵ所で約81.0MW、木質バイオマス発電所が1ヵ所で約6.2MWとなっており、いずれも順調に稼働しております。引き続き、再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した安全・安心なエネルギーを供給してまいります。

この結果、エコ再生エネルギー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は2,138百万円(同31.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は222,177百万円となり、前連結会計年度末と比較し10,285百万円増加いたしました。主な要因は、流動資産の増加8,251百万円であります。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加6,929百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は99,107百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,668百万円増加いたしました。内訳は、流動負債の増加3,127百万円と固定負債の減少1,459百万円であります。

流動負債の増加の主な要因は、買掛金の増加1,661百万円及び未払法人税等の増加1,429百万円であります。

固定負債の減少の主な要因は、その他(固定負債)の減少1,241百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は123,069百万円となり、前連結会計年度末と比較し8,617百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加7,486百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月15日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,590	99,519
売掛金	26,939	26,940
商品及び製品	16,645	17,030
仕掛品	378	380
原材料及び貯蔵品	1,801	1,925
その他	3,303	4,110
貸倒引当金	△17	△14
流動資産合計	141,641	149,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,186	16,388
機械装置及び運搬具(純額)	22,977	21,718
土地	19,897	19,974
その他(純額)	5,133	8,046
有形固定資産合計	64,195	66,127
無形固定資産	1,509	1,901
投資その他の資産	4,544	4,254
固定資産合計	70,249	72,283
資産合計	211,891	222,177
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,231	33,892
短期借入金	1,317	856
未払法人税等	4,562	5,991
賞与引当金	473	498
その他	10,473	10,944
流動負債合計	49,057	52,184
固定負債		
長期借入金	37,000	36,451
退職給付に係る負債	688	723
預り保証金	7,589	7,840
資産除去債務	1,672	1,706
役員株式給付引当金	110	122
その他	1,320	78
固定負債合計	48,382	46,922
負債合計	97,439	99,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	12,137	12,571
利益剰余金	108,797	116,284
自己株式	△9,087	△9,048
株主資本合計	112,348	120,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	55
為替換算調整勘定	△684	△415
その他の包括利益累計額合計	△657	△359
新株予約権	2,760	3,122
純資産合計	114,451	123,069
負債純資産合計	211,891	222,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	221,968	248,123
売上原価	197,450	218,883
売上総利益	24,518	29,239
販売費及び一般管理費	10,384	11,519
営業利益	14,133	17,720
営業外収益		
受取利息	247	351
受取配当金	0	0
受取賃貸料	68	154
為替差益	213	—
補助金収入	67	82
その他	226	218
営業外収益合計	823	807
営業外費用		
支払利息	31	19
賃貸収入原価	17	14
為替差損	—	49
燃料販売原価	41	41
デリバティブ評価損	1,659	330
その他	9	35
営業外費用合計	1,759	491
経常利益	13,198	18,036
特別利益		
投資有価証券売却益	4	14
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	0	17
特別利益合計	5	31
特別損失		
固定資産除却損	7	20
特別損失合計	7	20
税金等調整前四半期純利益	13,195	18,047
法人税、住民税及び事業税	4,045	5,897
法人税等調整額	40	△195
法人税等合計	4,085	5,701
四半期純利益	9,110	12,345
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,110	12,345

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	9,110	12,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	28
為替換算調整勘定	△768	268
その他の包括利益合計	△744	297
四半期包括利益	8,365	12,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,365	12,643

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	業務 スーパー 事業	外食・中食 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計				
収益認識の時期 一時点で移転される 財又はサービス	213,242	5,181	—	218,423	4	218,427	—	218,427
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	1,869	41	1,630	3,541	—	3,541	—	3,541
顧客との契約から生じる 収益	215,111	5,222	1,630	221,964	4	221,968	—	221,968
売上高								
外部顧客への売上高	215,111	5,222	1,630	221,964	4	221,968	—	221,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,308	122	—	2,430	—	2,430	△2,430	—
計	217,419	5,344	1,630	224,394	4	224,399	△2,430	221,968
セグメント利益又は 損失(△)	15,822	154	332	16,309	△31	16,278	△2,144	14,133

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△2,144百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年11月1日至2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	業務 スーパー 事業	外食・中食 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計				
収益認識の時期 一時点で移転される 財又はサービス	237,366	6,485	—	243,852	8	243,860	—	243,860
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	2,070	54	2,138	4,262	—	4,262	—	4,262
顧客との契約から生じる 収益	239,436	6,539	2,138	248,114	8	248,123	—	248,123
売上高								
外部顧客への売上高	239,436	6,539	2,138	248,114	8	248,123	—	248,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,981	247	—	3,229	—	3,229	△3,229	—
計	242,418	6,786	2,138	251,343	8	251,352	△3,229	248,123
セグメント利益又は 損失(△)	19,239	515	449	20,204	△20	20,184	△2,464	17,720

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△2,464百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。